

東京で唯一の「道の駅」八王子滝山！ ～街を活性化しようプロジェクト～

Hachioji Takiyama: The Only “Michi-no-Eki” in Tokyo!
～Let’s Revitalize the City Project～

グループ名：19 (Nineteen)
乾 あかね、森田 歌乃、井上 一香
指導教員 青野 健作

創価女子短期大学 国際ビジネス学科 青野ゼミナール

本提案は、東京で唯一の「道の駅」八王子滝山の活性化を通じて、若者や女性が街づくりの貢献を果たすことを目的としている。学園都市・八王子市の大学生や女性が「道の駅」とのパートナーシップ（啓発・農業・人材育成など）によるプロジェクトを通じて、街を活性化することを目指すものである。

キーワード：道の駅、SDGs、大学、学園都市、街づくり

1. 現状分析

(1) 道の駅は、道路利用者の休憩や道路情報の提供等を目的として、一般道路沿いに市町村等によって設置される施設である。「道の駅」制度の創設から四半世紀。現在では全国で1221駅が設置、年間2億人以上が利用している。



(2) 平成5年4月に行われた第1回の登録では、初代の道の駅として103駅が誕生した。平成17年8月に「道の駅八王子滝山」が登録され、制度開始から13年目で全ての都道府県に道の駅が設置されることとなり、その後も登録数は増加してきた。

(3) 八王子市は、東京都心から西へ約40キロメートルに位置しており、人口約58万人を抱える中核市である。豊かな自然や、絹織物をはじめとした伝統と文化、多様な産業が集まる街である。また、

21の大学等が立地する学園都市として、若者が多く集まり、今も発展を続けている。若者の活動の場として八王子学生委員会や大学セミナーハウス、八王子学園都市推進委員会などといった大学と八王子市が密に連携を取れる環境が整っている。

(4) 八王子市の課題として、少子高齢化が挙げられると共に、若者（大学生）と高齢者の交流の場が少ない。高齢者が多く携わっている道の駅八王子滝山を通して、交流の場を設け、街を活性化させることが求められる。

2. 提案内容

このような現状を踏まえ、大学と道の駅が一体となり東京で唯一の道の駅を活性化させるため、下記の4点を提案する。

- ① 大学と道の駅の連携強化
- ② 地域づくりを担う若者（女性）の人材育成
- ③ 道の駅の普及啓発活動
- ④ 道の駅と女性のエンパワーメント

3. 提案の具体例

- ① 大学と道の駅の連携強化

地域活性化の一環として、八王子の大学と道の駅が一体となるべく、大学コンソーシアム八王子

に加盟している25大学等が積極的に道の駅と連携を取り、各大学との間で八王子独自のプラットフォームを設置し、街の活性化に繋がるイベントを企画・運営する。

②地域づくりを担う若者（女性）の人材育成

八王子にはJA八王子女性部という組織があり、様々な体験を通して街づくりに携わることができる。しかし、JA八王子女性部に参加するには、契約の条件があるため若者が直接的に参画しにくい傾向がある。そこで、誰もが参加できる組織にし、気軽に街づくりに参画することができる環境を整え、地域づくりを担っていく若者の人材を増やす。

③道の駅の普及啓発

現在、道の駅八王子滝山にはSNS(X、Instagram)がある。しかし、フォロワー数は4789人(X)、3128人(Instagram)と少ない現状である。そのため、フォロワー数を増やし、さらなる道の駅の活性化、PRに取り組み、例えば、八王子の特産品の製作過程を発信したり、イベントの様子を詳しく発信したり、道の駅の魅力が最大限に生かされるような媒体にする。

④道の駅と女性のエンパワーメント

道の駅の施設構成の1つとして「清潔なトイレ」の提供が挙げられる。女性が住みやすい街づくりの一環として、道の駅の女性用トイレに生理用品無料ディスペンサー(OiTr)を設置し、女性利用者の生理に関する不安を軽減し、女性従業員の働きやすさを高め、パフォーマンスの向上に貢献する。この活動を通して、女性が生きやすい社会を実現する中で、街づくり全体に活かす。

4. 提案の効果

- ①八王子市内の大学と道の駅との独自のプラットフォーム（連携強化の場）を設けることで、学生の街づくりに関する意識向上に繋がり、学生の新たな発想で新しい街づくりに貢献することができる。
- ②八王子の若者（女性）が積極的にJA八王子の取り組みに参画することで、女性のエンパワーメントにも繋がり、人材不足の農家にとっても地域活性化に貢献することができる。

③道の駅の普及啓発を行うことで、八王子市内のみならず市外からも多くの来客が増えることで、地域の経済活性化とともに八王子市の認知度向上にも大きく貢献することに繋がる。

④道の駅にOiTrを設置することで、生理の貧困という社会課題の克服にも繋がり、来客のみならず女性従業員にとっても、道の駅の存在が女性のエンパワーメントに大きく貢献することができる。

5. おわりに

八王子市は、21の大学等が立地する学園都市としても知られ、今も発展を続け若者が多く集まることが期待される。その特性を生かし、多くの若者（大学生）と多くの高齢者が集まる道の駅との交流や企画を行うことで、地域全体の一体感をより一層高めることが求められる。したがって、本提案を通じて、「誰も置き去りにしない」八王子市の構築に取り組むべきであると考えている。そして、本提案を通じて、市内の若者や女性が主体的に街づくりに貢献できるような八王子市の活性化が大いに期待できると考える。

【参考資料】

・「道の駅の現状と役割の拡大—地域活性化や防災の拠点として—」（国立国会図書館 調査及び立法考査局 国土交通課 千田 和明）

<https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo11176321poIB1021.pdf?contentNo=1#:~:text=>

・広報はちおうじ 特集八王子の農業(2014年)

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/contents/kouhou/006/p003431d/fil/kohol40101.pdf>

・JA八王子 女性部

<https://ja-hachioji.or.jp/woman/>

・農林水産省 HP

https://www.maff.go.jp/j/wpaper/wmaff/r1/r1h/trend/part1/chap0/c02_03_1.html#main_content